

? 萩外荘の向かいの土地って
どうなるんだろう…

! こちらの**パネル展**をぜひご覧ください

萩外荘の向かいに整備する
新たな施設
について

ご自由にご覧ください

3.25 [Fri]

3.26 [Sat]

13:00 - 15:00



荻外荘（てきがいそう）について

「荻外荘（てきがいそう）」は、昭和二年に、建築家 伊東忠太の設計により、医師で大正天皇の侍医頭（じいのかみ）も務めた入澤達吉の別邸として創建された。庭には楓（かえで）が多く、入澤はこの別邸を「楓荻荘（ふうてきそう）」と呼んでいた。その後、内閣総理大臣を三度務めることとなる近衛文麿に譲渡され、近衛の後见人だった西園寺公望により「荻外荘」と名付けられたのは、昭和十二年のことである。

同年六月、第一次近衛内閣が発足。その半年後には、多くの要人がこの地を訪れるようになった。昭和十五年から十六年にかけては、歴史的にも知られる日本の対外政策の重要な会談が荻外荘で行われた。

太平洋戦争終戦後の昭和二十年十二月、GHQに出頭を命じられた近衛文麿は、荻外荘の自室にて自決するに至った。

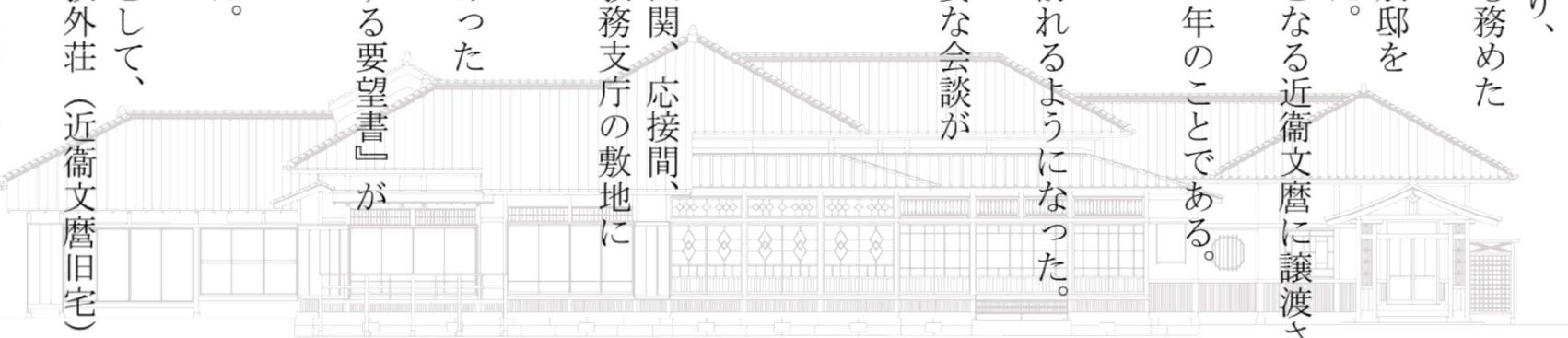
昭和三十五年には、荻外荘の東側部分の玄関、応接間、客間などが豊島区駒込にある天理教東京教務支庁の敷地に移築され、建物は二つに分かれた。

平成二十四年二月に、荻外荘の所有者であった近衛文麿の次男 通隆氏逝去ののち、地元十町会長の連名で『「荻外荘」に関する要望書』が杉並区に出された。

これを受け、平成二十六年に、杉並区は荻外荘の土地及び建物を取得した。

平成二十八年三月には、この地が日本政治史上重要な場所であるとして、国の史跡に指定された。（国指定史跡「荻外荘（近衛文麿旧宅）」）

杉並区は、荻外荘を復原・整備し、適切に保存・活用することによりその価値を杉並区の内外に広く伝え、次世代に確実に継承していく。



荻外荘復原・整備プロジェクトとは

日本の針路を左右する

重要な会談の舞台となった「荻外荘」を、
近衛居住時代の姿に復原し、

史跡公園として整備する取組です。

史跡公園は、

令和6年12月の公開を

目指しています。

日本を代表する建築家 伊東忠太設計による
現存する数少ない邸宅建築でもある荻外荘。

その復原・整備は、

区民の方だけでなく、

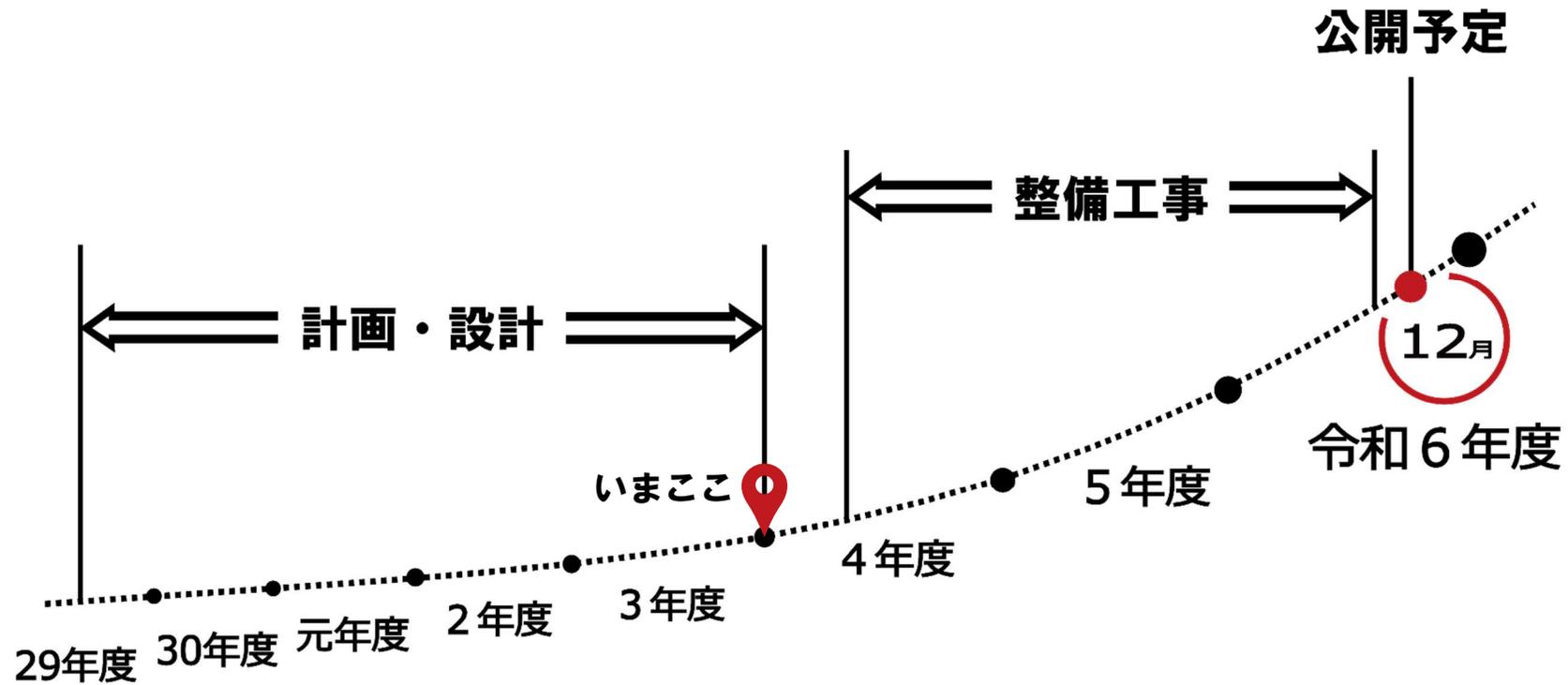
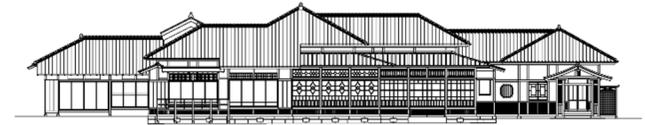
日本全国の幅広い方々からご寄附を募り、

本プロジェクトの趣旨への

ご理解とご賛同を得ながら

進めていきたいと考えています。

荻外荘復原・整備プロジェクト 事業スケジュール



荻窪で営まれた、
様々な分野で
日本を支えた人々の
活動と生活...

彼らが残した
エピソードや
ゆかりの品々を、
日常のなかで、
身近に感じていただける
ような場を
つくりたい...

このような取組に
ふさわしい場所は
ないだろうか...

荻窪に 暮らした 文化人等

近衛文麿

(五摂家筆頭近衛家第29代当主、
第34・38・39代内閣総理大臣)

大田黒元雄

(音楽評論家)

角川源義

(俳人・角川書店創始者)

など
その他多数

荻窪 というまち

その昔、荒川水系の一級河川
善福寺川が造り出す
起伏豊かな地形の荻窪は、
きれいな空気と、
松林や富士山をも望める
美しい眺めに恵まれていました。
明治時代の終わり、
そんな豊かな環境にほれ込んだ
財界人、学者、政治家などから、
英気を養うための
「別荘地」として、
人気を集めました。
その後、関東大震災を経て、
荻窪は「住宅地」として
発展しました。

そこで！

先人たちの活動にふれつつ、荻窪の恵まれた環境でくつろぐことのできる場をつくるため、

(仮称) 荻外荘公園の用地として **新たに取得した土地** について

ご紹介します！

所在地 荻窪二丁目42番12号

敷地面積 約450㎡

用途地域等

用途地域 第一種低層住居専用地域

容積率 100%

建ぺい率 50%

高さの最高限度 10m

高度地区 第1種高度地区

防火指定 準防火地域

日影規制 (一) 3h-2h 1.5m

地区計画 大田黒公園周辺地区地区計画

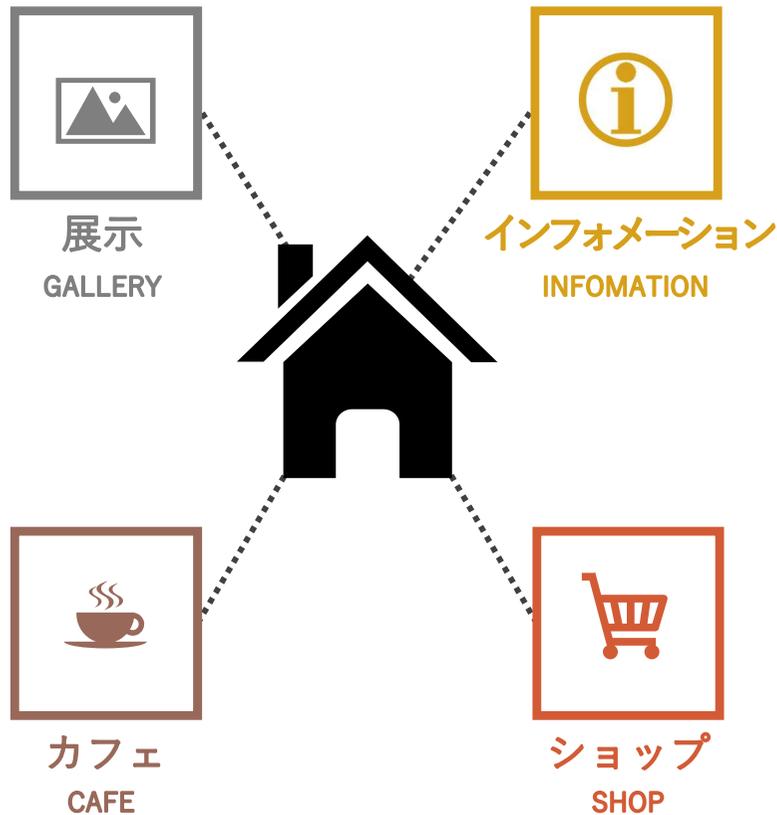
敷地面積の最低限度 150㎡

壁面の位置の制限 道路境界線から1m以上 等



この土地は、明治の終わり頃、
実業家の山田直矢氏が購入した、
広大な土地の一部です。
入澤達吉が居住していた
「楓荻荘（ふうてきそう）」
（近衛文磨に譲渡される前の「荻外荘」）を、
地域の人々は「入澤別荘」
と呼んでいましたが、
山田家の邸宅も、「山田別荘」
と呼ばれていたそうです。
富士山をも望める美しい眺めと
清涼な空気に恵まれ、
伊東忠太の住宅思想が注がれた別荘として
創建された「荻外荘」。
杉並区は、
「荻外荘」の向かいに立地するこの用地も、
「別荘地 荻窪」の記憶を伝える
土地であったことを踏まえ、
整備方針を検討しました。
その内容を次のパネルでご紹介します。

新たに整備する施設には こんな機能を持たせたいと考えています



展示 GALLERY

多くの著名人が暮らしてきた荻窪。
新たに整備する施設では、荻外荘に関する文化財はもとより、荻窪ゆかりの文化人等まつわる文化財などを皆さまにご覧いただくことで、荻窪というまちをより深く知っていただけるような展示スペースを設けます。

インフォメーション INFORMATION

(仮称) 荻外荘公園が完成したあかつきには、すぐそばの大田黒公園、角川庭園とコラボしたイベント等を企画したいと思っています。

新たに整備する施設には、「荻窪三庭園」のイベントコンテンツなど、楽しい情報をお届けするインフォメーション機能を設けます。

カフェ CAFE

荻外荘を堪能したあと、その余韻をゆっくり楽しんでいただけるようなカフェを設けます。もちろん、カフェだけの利用もOKです。ご近所の皆さまの憩いの場、気分転換の場にもなるような、心地よい空間づくりをしたいと思います。

ショップ SHOP

築地本願寺などを手がけた日本を代表する建築家 伊東忠太設計による現存する数少ない邸宅建築のひとつである「荻外荘」。建物全体はもちろん、細部のデザインもとてもかっこいいんです！新しく整備する施設には、そんなデザインをうまく生かした「荻外荘オリジナルグッズ」などを扱うショップを設けます。

大田黒公園



(仮称) 荻外荘公園



角川庭園



「荻窪三庭園」

ケヤキなど、
これまで荻窪のまちをずっと眺めてきた
既存樹木を生かした空間づくりを行います。
ご期待ください。



国指定史跡

「荻外荘（近衛文麿旧宅）」

展示休憩施設棟建設に伴う

基本設計及び実施設計業務委託

公募型プロポーザル

実施要領公表

参加表明書・企画提案書 受付開始

2022.04.15 [Fri]

現地見学会

2022.04.20 [Wed]

参加表明書 提出締切

2022.05.13 [Fri]

企画提案書 提出締切

2022.05.20 [Fri]



実施要領
4/15公表予定

- 「大田黒公園周辺地区地区計画」の範囲にあり、
周囲にはみどりが多く、瀟洒な住宅が多く建つ今回の計画地。
さらに、道路を挟んだ向かいには、
日本を代表する建築家 伊東忠太が手掛けた「荻外荘」が
復原されることとなります。
 - 今回整備する施設は、そんな唯一無二の環境に相応しい、
素敵な建物にしたいと考えています。これを実現するためには、
質の高い事業者を設計者として選定することが重要です。
そこで、区は、設計者の候補を
「プロポーザル方式」で決定することとしました。
「プロポーザル方式」とは、候補者の選定にあたり、
企画、技術等に関する提案を求め、
その企画力、技術力等を総合的に判断して
候補者の選定を行う方式です。
 - 自由な発想と優れた設計技術を持つ候補者を選定できるよう、
幅広く参加者募集を行い、
書類審査、プレゼンテーション・ヒアリングを経て選定します。
 - 候補者の選定は、外部委員と区職員からなる「選定委員会」が、
建築史、建築意匠、まちづくり等を専門とする視点で
選定する予定です。
 - プロポーザルの実施要領は、4月15日公表予定で、
杉並区公式ホームページで、どなたでもご覧いただけます。
- ※審査の結果は、杉並区公式ホームページでお知らせします。